

SAR2010

第38回 構造活性相関シンポジウム



討論主題

1. 生理活性物質の活性評価・医薬への応用
2. QSARの基本パラメータ・基本手法・情報数理的アプローチ
3. QSARと吸収・分布・代謝・毒性・環境毒性
4. コンビナトリアルケミストリーと創薬
5. バイオインフォマティクス
6. 分子情報処理(データベースを含む)・データ予測

発表形式 口頭またはポスター

(優秀な発表にはSAR Presentation Award授与)

発表申込 7月 9日(金) 締切必着

講演要旨 9月10日(金) 締切必着

会 期 2010年10月30日(土)~31日(日)

会 場 徳島大学工学部共通講義棟(5-6F)(徳島市南常三島町2-1)

<http://www.tokushima-u.ac.jp/article/0012080.html>

主 催 日本薬学会構造活性相関部会

共 催 日本化学会, 日本農芸化学会, 日本農薬学会, 日本分析化学会

同時併催 第33回情報化学討論会

参加登録予約申込 10月13日(水) 締切

参加費 [一般] 予約 8,000円, 当日 9,000円
[学生] 予約 2,000円, 当日 3,000円

本参加費により同時併催の第33回情報化学討論会にもご参加いただけます。

懇親会 10月30日(土) 19:00 頃

[一般] 予約 7,000円, 当日 8,000円

[学生] 予約 3,000円, 当日 4,000円

発表、参加予約申込の詳細はホームページをご覧ください。
<http://www.event-convention.com/sar2010/>

特別講演

**Condensing Chemical Reactions to Pseudo-molecules:
An Efficient Way of Reactions Mining**

Alexandre Varnek (University of Strasbourg)

**Thermodynamic Analysis of Protein-Protein and Protein-Ligand
Interactions Provides Rigorous Guidelines for Drug Development**

Ernesto Freire (Johns Hopkins University)

招待講演

細胞治療を助ける化合物

上杉 志成 (京都大学大学院)

単体及び複合体タンパク質を標的としたインシリコスクリーニング

広川 貴次 (産業技術総合研究所)

エピジェネティックに遺伝子発現を制御する低分子化合物の設計と合成

宮田 直樹 (名古屋市立大学大学院)

薬物の毒性と代謝: 基質の構造から酵素の認識を読む

山添 康 (東北大学大学院)

第38回構造活性相関シンポジウム 実行委員長 中馬 寛

(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部)

問合せ・申込先: 第38回構造活性相関シンポジウム事務局

〒105-0014 東京都港区芝3-17-15 クリエイト三田207

Tel (03) 3798-5240 Fax (03) 3798-5251

E-mail: sar2010@event-convention.com